

2015/7/2-4

7月2日に東京を出発し、3日・4日に陸前高田にて活動をさせていただきました。

3日は二カ所での活動です。陸前高田市役所の皆様へのお昼休みのコンサートと東部デイサービスセンターでの演奏でした。陸前高田市役所隣に最近完成したコミュニティーホールはとても素晴らしい施設で、こちらのエントランスホールにて演奏させていただきました。

市役所の職員の方々はご自身も被災者であり、働いていた職員の方も多く犠牲になられています。ご家族を亡くされた方もいらっしゃると思います。そして我が身はおいてずっと市民の皆さんの為に尽力されていました。その方々に少しでも心安らくひとときを過ごして頂けたらと、開催させていただくことができました。貴重なお昼休みの時間に多くの方々がおいでくださいました。

午後は今回で7回目の訪問となりました、東部デイサービスセンターにお伺いさせていただきました。

皆さんの喜んでいただけたお顔に出会えて嬉しかったです。

「津波のこと」を作詞された戸羽サヨ子さんにもお目にかかれました。



4日は陸前高田のモビリア仮設集会所での演奏と陸前高田サポーターズギャザリング会に参加させていただきました。

モビリアへもたびたびお邪魔させていただいています。もともとキャンプ場であるこちらの仮設もだいぶ空室になってきたところがあるようです。以前こちらに住まわれていた方や、陸前高田、大船渡でお世話になった方々もいらしてくださいました。地元誌の岩手日報の取材もありました。記者の方がとても優しいサウンドですね、とおっしゃってくださいました。翌朝の記事に掲載いただきました。

陸前高田サポーターズギャザリング会は全国から陸前高田を応援する方々が集まりました。あらゆる方面から陸前高田の現状やこれからのことのお話もありました。7月いっぱい退任される久保田副市長の卒業式も温かく、4年間市長を支えて復興にご尽力されてきたのだと思いました。

ギャザリング会でも話題に出ていましたが、被災地がこれから抱える問題として「風化」そして「心のケア」があります。これらは目には見えないことです。しかし被災された全ての人が辛い経験をし、たくさんの想いをもちながら毎日を追われています。出したくても出さずにいる、出すことができない感情もお持ちのことだと思います。

ずっとずっと消えるもの、癒されるものではないのかもしれませんが、音楽の愛の力で少しでも寄り添うことができればと思います。これからも私たちにできることを微力ながらも続けていきたいと思っています。

陸前高田に向かう前に女川の街と石巻の大川小学校に立ち寄りまし。大川小学校は70人以上の子どもたちや10人もの先生が犠牲となった場所です。すぐ横に裏山があるのに・・・本当に胸が締め付けられる思いでした。初日に宿泊した女川はまだまだ復興するには年月がかかりそうでした。真新しい女川駅舎がこれから街が再建していくことを祈り見守っているようでした。



陸前高田の街にはベルトコンベアーが張り巡らされ盛り土作業が進んでいます



女川で宿泊したトレーラーハウスのホテルです。建造物をつくることはまだ難しく、移動ができるようにトレーラーハウスで営業しています。

<セットリスト>

7/3

陸前高田コミュニティーホール

風はなにいろ

奇跡

海よ

復興

空からの合図

障害をもってみて

祈り

幸福になるための歌

7/3

東部デイサービスセンター

ふるさとは今も変わらず

海のメロデー

津波のこと

城ヶ島の雨

イヨマンテの夜

高原列車は行く

最上川舟唄

星めぐりの歌

懐メロヒットメロデー

祈り

幸福になるための歌

7/4

モビリア仮設集会所

ハナミズキ

みんな家族だ

海よ

三陸気仙〜春の巡礼路

星めぐりの歌

からたちの花

最上川舟唄

イヨマンテの夜

高原列車は行く

祈り

風はなにいろ

奇跡

幸福になるための歌